

6nimm! JUNIOR

人数：2～5人
年齢：5才以上
時間：20分

セット内容



動物カード 52 枚

(うち動物 1 匹が描かれたカードが 42 枚、
2 匹のカードが 6 枚、3 匹のカードが 4 枚)

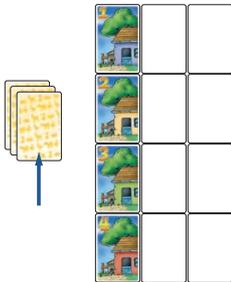


小屋カード 4 枚

ゲームストーリー

お日様もにっこり、青空の下の小さなファーム。でも、遠くにくっきり見える入道雲は、激しい雷とわか雨の前触れです。ファームの住人はポニー、ヤギ、ウサギ、アヒル、ニワトリに小さなネズミ。みんな雷がこわくてしようがありません。はやくも隠れ場所を求めて、飼育小屋に逃げこみます。みんなが屋根の下で安心して過ごせるように、プレイヤーは動物たちを助けて、飼育小屋に集めましょう。カードに描かれた動物 6 種を 1 つの飼育小屋に集めることができれば、そのプレイヤーはそれらのカードを手に入れることができます。ゲーム終了時に、手持ちカードの一番多いプレイヤーが勝者です。

ゲームを始める前に



4 枚の飼育小屋カードを縦一列にして机の真ん中に並べます。この飼育小屋カードそれぞれが、これから並べていくカードの列の先頭になります。動物カードはよく混ぜて絵の面を下向きに、飼育小屋カードの横に山積みしておきます。(左図)

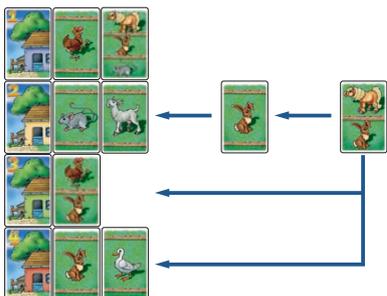
ゲームの進め方

時計回りに順番を交代していきます。自分の順番がきたら、カードの山から一番上の 1 枚をめくり、下記のルールに従って、飼育小屋カードで始まる 4 つのカードの列の 1 つに続けて並べます。新しくひいたカードは、必ず選んだ列の最後部、つまり並べられたカードの一番右側に置きましょう(下図)。そして次のプレイヤーと交代します。

☆カードを置く時のルール☆

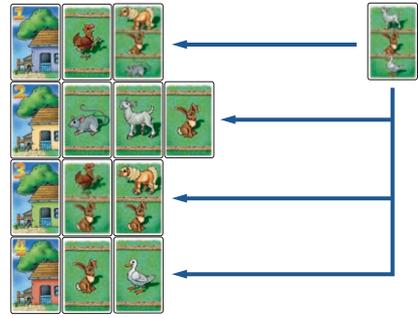
- ひいたカードの動物がまだ含まれない列を選んで、そこにカードを置きます。
- ただし、その動物がどの列にもある場合は、好きな列を選んで置くことができます。
- 複数の動物が描かれたカードをひいた場合は、少なくともその内一種の動物がまだ含まれない列を選びます。全ての動物がどの列にもある場合は、上のルールに準じ、自分で好きな列を選んで、カードを置くことができます。
- 一列に 6 種類の動物全てが揃ったら、その飼育小屋は満席です。列を完成させた、つまり 6 種類目の動物が描かれたカードを置いたプレイヤーが、自分の置いたカードも含め、その列の動物カードを全て持分として取ることができます。この時、カードは 6 枚以下の場合も、6 枚以上の場合もありえます。飼育小屋のカードはその後のゲーム進行に必要なので、元の場所に残しておきます。

取ったカードは積み重ねて各自手元に置いておきます。飼育小屋カードだけが残った場所には、この後の進行中新しい列を並べることができます。ですから、常に 4 列から、カードを置くことのできる場所を選んでゲームを進めていきます。



例：

ウサギを置くことができるのは 2 列目だけです。1、3、4 列目にはすでにウサギのカードがあるからです。その次のプレイヤーが『ポニーとウサギ』のカードをひきました。1 列目をのぞいて、他のどの列にもまだポニーはありません。ですから、このプレイヤーは 2、3、4 列目のうち、好きな列を選べます。



例：

『ヤギ、ウサギ、アヒル』のカードはどの列にも置くことができます。このカードでどの列にも新しい動物が加わるからです。1 列目に置けば、列は 6 種の動物で完成し、このプレイヤーは全 3 枚のカードを取ることができます。

ゲームの勝敗

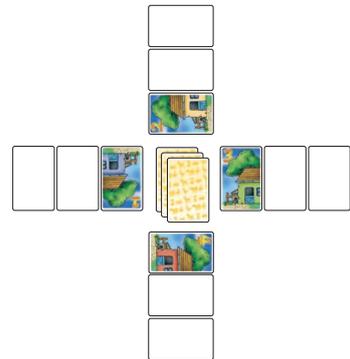
カードの山を使いきった時点でゲーム終了。この時、手持ちカードの一番多いプレイヤーがゲームの勝者です。5 歳ぐらいの子どもたちから遊べるゲームですので、みんながまだカードの枚数を数え切れない場合もあるでしょう。そんな場合は、各自の手持ちカードをそれぞれ一列に並べ、長さを比べて判定してください。

バリエーションルール 1 (動物カードをとっちゃだめ！)

同じルールで遊びますが、ゲームの目的を正反対にします。つまり、ゲーム終了時に手持ちカードが一番少ないプレイヤーを勝者とします。ですから、プレイヤーはゲーム進行中、できるだけ、自分で列を完成させないように工夫しながら、カードを置く場所を選ばなければなりません。

バリエーションルール 2 (誰が早く気付くかな?)

このルールでは、飼育小屋カードの数字(1～4)に留意します。基本ルールと違って、飼育小屋カードを 1～4 の順で、動物カードの山を囲むように置き、四方に列が伸びていくようにします(下図)。順番のプレイヤーは、カードの山から一番上のカードをめくって、みんなが見えるように、積み重ねたカードの上に置きます。



さて、ここから全員がプレイに参加します。4 つの列のどこかにこのカードを置けば、列を完成させることができるでしょうか？

• 4 箇所どこに置いても列を完成させられない場合。この回の順番のプレイヤーが、引いたカードを基本ルールに従って、どこかの列に並べます。

• 列を完成させるためのカードの置き場所を誰かが見つけた場合。見つけたプレイヤーが『…』と言って、その列の飼育小屋カードを取ります。そして全員で、このプレイヤーの判断が正しかったか確かめます。判断正→完成した列の動物カード全部がそのプレイヤーの持分となります。判断誤→誤った判断を下したプレイヤーはペナルティとして、手持ちのカードを一枚出さなければなりません(まだ手持ちのカードがない場合、このペナルティは免除されます)。この回の順番のプレイヤーが、引いたカードを上の基本ルールに従って、どこかの列に並べます。そのあと、いずれの場合も飼育小屋カードを元の位置に戻し、次のプレイヤーがカードをひく番となります。

• 複数のプレイヤーが『…』と言って、それぞれ違うカードを取った場合。各列の正誤を全員で確かめます。判断の正誤によるルールはほぼ上に準じます。正しい判断をしたプレイヤーは、すでにその列にあった動物カードだけを持分として取ります。この回で引かれた動物カードは、引いたプレイヤーが基本ルールに従って、どこかの列に並べます。飼育小屋カードはやはり元の位置に戻し、次のプレイヤーがカードをひく番となります。基本ルールと同じく、カードの山を使いきった時点でゲーム終了。この時、手持ちカードの一番多いプレイヤーがゲームの勝者です。



輸入販売元
株式会社ブラザー・ジョルダン社